

グラジオラス(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	球根腐敗病	赤斑病	ボトリチス病	アザミウマ類	アブラムシ類
ポリオキシシンAL溶	19		*d	8		◎	◎		
ホーマイコート㊟	1・M3		*c	1	◎				
ホーマイ水㊟	1・M3		*c	1	◎				
オルトラン水	1B		*b	1				◎	
スカウトFL	3A	劇	-	5				◎	◎

㊟：チオファネートメチル含有剤 ◎：ベノミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP.856 参照）。

*b:植付時

*c:植付前又は貯蔵前

*d:発病初期

グラジオラス(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
赤斑病・ボトリチス病	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ポリオキシシンAL水溶剤 2500倍	
球根腐敗病	貯蔵前・植付前	1. 貯蔵の際は乾燥を保つように心がける。 2. 次の薬剤のいずれかを球根処理する。 ホームマイコート(水)㊤ 粉衣：球根重量の2～3% ホームマイ水和剤㊤ 粉衣：球根重量の1.0% 浸漬：200倍液に30分 3. 次の薬剤のいずれかで土壌消毒する。 ガスタード微粒剤＊ バスアミド微粒剤＊ いずれも20～30kg/10a	貯蔵中に多湿であると発生しやすい。 ＊花き類・観葉植物での登録
モザイク病	生育期	1. 発病株は掘り取って圃場の外で処分する。 2. アブラムシ類を防除する。	CMV、BYMVによるものがある。 いずれもアブラムシ類によって媒介される。
アザミウマ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スカウトフロアブル 2000倍	
ネコブセンチュウ	植付前	1. 発生地では土壌消毒をする(土壌消毒の項参照)。 2. 寄生が認められた球根や木子は次の方法で温湯浸漬する。 ①予浸30℃の温湯に30分浸漬 ②本浸49℃の温湯に 大球は25～29分、 小球や木子は20～22分浸漬	サツマイモネコブセンチュウとキタネコブセンチュウが寄生する。
その他の病害虫		首腐病、青かび病、角斑病、葉枯病、乾腐病、菌核病、ハダニ類	